

日本社会関連会計学会 会員のみなさまへ

清秋の候、会員のみなさまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る2019年11月2日(土)～3日(日)に、日本社会関連会計学会第32回全国大会を、文京学院大学本郷キャンパスにて開催させていただきますのでご案内申し上げます。

今回の統一論題テーマは、「社会関連会計における実証研究の意義」といたしました。会計学領域において実証研究は既に一般的な研究手法ということが出来ます。この点は、社会関連会計においても同様といえますが、当学会ではこの問題が今まで取り上げられたことがなかったように思われます。

そこで、社会関連会計において実証研究が果たす意義について統一論題として取り上げ、討論会を開催します。また、1件のスタディ・グループが中間報告となります。

また、自由論題についても、10件の充実した報告が行われることになっています。

今回の全国大会が社会関連会計の研究にとって実り多いものになるよう、多くの会員の方々のご参加を心からお待ち申し上げます。

会場:文京学院大学・本郷キャンパス

東京メトロ南北線東大前駅下車徒歩0分(キャンパス内に地下鉄の出口がございます。)

交通および会場案内は別紙を参照ください。

参加費等のご案内

大会参加費 3,000円

懇親会費 5,000円

参加費および懇親会費は、当日受付にてお支払い下さい。

大会のご出欠につきましては、準備委員会のE-mailのアドレス宛に、ご出欠の有無、ご出席の場合、懇親会の参加の有無をご連絡下さい。10月29日(火)までにご連絡いただけると幸いです。

お手数をおかけしますが、宜しくお願いいたします。

理事会

2019年11月2日(土)

10:40～12:10

会場: B館8階811会議室

会長・理事選挙は、10月23日(水)事務局到着分までが有効です。投票をお願いいたします。

<会員のみなさまへのお詫び>

このたびの全国大会開催に際しましては、会場確保から始まり、数々の不手際が重なり、大会のご案内の発送が大変遅くなり、大会直前になってしまい、会員のみなさまにはご迷惑をおかけ致しました。

心よりお詫び申し上げます。

特に、会長梶浦昭友先生、副会長宮崎修行先生、副会長(事務局)向山敦夫先生におかれましては、多大なご迷惑をおかけしたにも拘わらず、大会の準備についてお助けいただきました。特に、宮崎先生にはプログラム委員をお引き受けいただき、統一論題の設定、取り纏めをして下さいました。先生方には、心より感謝申し上げます。

大会当日も何かと行き届かないことが多いかと存じますが、何卒宜しく願い申し上げます。

日本社会関連会計学会第32回大会
準備委員会 依田俊伸

日本社会関連会計学会 第32回全国大会のご案内

統一論題

「社会関連会計における 実証研究の意義」

2019年11月2日(土)～3日(日)

文京学院大学・本郷キャンパス

2、3日:S館7階

〒113-8668

東京都文京区向丘1-19-1

文京学院大学大学院経営学研究科研究室

日本社会関連会計学会第32回全国大会

準備委員会 依田俊伸

プログラム委員 宮崎修行

E-mail: yoda@toyo.jp

(ご連絡はE-mailでお願いいたします。)

プログラム

第1日:11月2日(土)

報告会場はすべてS館7階704教室です。
受付は、704教室前に設置します。
会員控室は、702教室です。

12:20～13:00

会員総会

13:10～14:40

統一論題報告: 社会関連会計における実証研究の意義

司会: 宮崎 修行 氏 (国際基督教大学)

13:10～13:40

「統合報告をめぐる実証研究の動向と課題」
譚 鵬 氏 (中部大学)

13:40～14:10

「社会関連会計における実証研究」
大坪 史治氏 (獨協大学)

14:10～14:40

「資金調達活動に対する株価反応の実証的検証」
西村真紀子 氏 (人間環境大学)

14:50～15:50

統一論題討論: 社会関連会計における実証研究の意義

座長: 宮崎 修行 氏 (国際基督教大学)

パネラー:

譚 鵬 氏 (中部大学)
大坪 史治氏 (獨協大学)
西村真紀子氏 (人間環境大学)

自由論題報告 1: S館7階704教室

16:00～16:30

「内部環境マネジメント・コントロール・システムの構造: キヤノンを事例として」
安藤 崇 氏 (千葉商科大学)

16:30～17:00

「中手造船企業における2020年Sox規制対応ための組織間管理会計の必要性と課題」
宮地 晃輔 氏 (長崎県立大学)

自由論題 2: S館7階704教室

17:00～17:40

「ソーシャルインパクトボンドの形成過程と今後の可能性—国内外事例及び成果の評価指標を中心に—」
酒巻 雅純 氏 (東京証券取引所)

17:40～18:10

「長期目標の達成を支援するサステナビリティマネジメントコントロールの展望」
東田 明 氏 (名城大学)

18:25～20:25

懇親会

文京学院大学B館1階 B's Dining

第2日:11月3日(日)

報告会場は、S館7階703教室および704教室です。

自由論題 1: S館7階703教室

10:00～10:30

「水平的関係における組織間マネジメント」
岡田 華奈氏 (大阪経済大学)

10:30～11:00

「FITによる賦課金の行方」
宮武 記章氏 (大阪経済大学)、吉本圭一郎氏 (日本文理大学)

11:00～11:30

「ハイアールの付加価値計算書について」
水野 一郎氏 (関西大学)

自由論題 2: S館7階704教室

10:00～10:30

「社会福祉法人の情報開示分析 —岡山県総社市の15法人における財務諸表及び現況報告書を中心に—」
谷光 透 (川崎医療福祉大学)

10:30～11:00

「戦略的アカウンタビリティの可能性に関する考察—アカウンタビリティを要求することの倫理的側面から—」
中澤 優介氏 (愛知学院大学)

11:00～11:30

「フィードフォワード・コントロールにおける説明の概念についての考察」
鈴木 新 (就実大学)

11:40～12:10

スタディ・グループ中間報告

11:40～12:10

研究代表者: 中野悠里子氏 (公立鳥取環境大学)
「SDGs時代の社会的評価指標開発への挑戦—AI活用とESG評価の視点より—」